

インドネシアの音楽

2-C 時田佳奈

目次

1. このテーマを選んだきっかけ
2. 日本人にアンケートしてみた
3. インドネシアの音楽の種類と楽器
4. 現在のインドネシアでの音楽の流行
5. 日本でのインドネシアの音楽の普及の現状
6. 感想

1. このテーマを選んだきっかけ

私は世界の様々な音楽に興味があります。最近では特にインドネシアやタイなどの東南アジアに興味があったが、音楽についてあまり詳しく知らなかつたので、この機会に研究してみたいと思いました。

2. 日本人にアンケートをしてみた

1つ疑問に思ったことがあり日本人にアンケートを取ってみました。私は多少興味があったのでインドネシアの音楽について少しだけ知っていることがあったが、他の日本人の間ではどのくらいの認知度があるか気になりました。例えば「インドの音楽」、「ハワイの音楽」と聞けば、ワールドミュージックやその国に興味のない人でも何となくは想像出来ると思います。しかし「インドネシアの音楽」、「東南アジアの音楽」と聞いて想像できる人は少ないと思いました。

☆アンケート内容

- ①インドネシアについて知っていること
- ②インドネシアの音楽について知っていること(想像でも可)

★結果

① バリ島、ジャカルタ、ジャワ島、ボロブドゥール遺跡などの観光地の回答が一番多かったです。次に、鮮やかな色の衣装、バティックなどの回答もあり意外でした。他には、カレー(インドネシアのカレーって有名…?)、フォー(ベトナム?)、サリー(インド、ネパール…?)など少し違う回答もありました。しかし、インドネシアに興味のある人は結構多そうだと思いました。

- ② わからないという回答が多かったです。JKT48(AKB48 のジャカルタバージ

ヨン)、ガムランを知っている！という回答もありました。想像で答えてくれた人の中では、「民族的」という回答がとても多くて意外でした。また、「ノリノリそう」、「陽気そう」という回答も多かったです。『よくわからないけど、陽気で民族的っぽそう！』と思っている人が多そうです。

3. インドネシアの音楽の種類と楽器について

まず、インドネシアがどんな国なのか軽く調べてみました。
13000余りの島からなる国で、人口世界第四位の国。300以上の言語が話され(公用語:インドネシア語)、たくさんの民族が存在する。
島ごとによってかなり文化が違うことや、様々な民族が存在することから、様々な伝統舞踊、伝統音楽が存在するそうです。

今回は代表的なものを何個かピックアップして、詳しく調べてみました。

伝統音楽 ①ガムラン
大衆音楽 ②クロンチョン
③ダンドゥット

①ガムラン

ガムランはバリ島やジャワ島の伝統音楽です。

バリ島のガムランとジャワ島のガムランでも同じものではなく、バリ島のガムランは音の動きが多く音が大きいのが特徴です。ジャワ島のガムランは穏やかでゆったりしているのが特徴です。

「ガムラン」はもともとは楽器の総称のことで現地の人は「カラウィタン」と呼びます。「カラウィタン・バリ」、「カラウィタン・ジャワ」という風に分けられます。

音階

ガムランは大きく分けて「ペロッグ」と「スレンドロ」に分かれます。これはバリもジャワも共通です。

ガムランは5音が基本でペロッグは音程の中に半音が含まれる、音程の中に半音が含まれないものをスレンドロといいます。

ジャワのガムランではペロッグとスレンドロを交互に演奏するときがあります。バリのガムランではオーケストラの形態によって扱う音階が変わります。バリのガムランの中にも何種類もあり例えばゴンクビヤール(観光地で見ることのできるガムランはほとんどがこれ)という形態ならペロッグ、グンテルヤワという形態ならスレンドロという風に変化します。

楽器

ガムランで使われる楽器の種類はとても多いのでその中でもよく使われる楽器をピックアップしました。

※バリで使われるものは赤、ジャワで使われるものは緑、両方で使われるものは黒で記載しました。また、バリとジャワでは言語が違うので同じ楽器でも呼び名が違うものがあったのでそれは()内に記載しました。

—主旋律を演奏する楽器

* **サロン** 金属の板を紐で挟んだもの。ジャワのサロンには3種類の大きさがあり、木でできた1本の槌でたたく。(大きなものからサロンドムン、サロンバルン、サロンリチエ)。右手で槌を持ち、左手で消音する必要がある。

* **ガンサ** サロンに似た楽器で大きさは1種類。フィリピンなどでも使われ、ばちでたたくガンサパロークと素手でたたくガンサトパイアがある。

—旋律装飾を演奏する楽器

* **ボナン(レヨン)** 銅製のお椀。十数個のお椀を1~2列に並べたもの。両手でもったバチで叩き、リズムに変化を与えるのに役立つ。大編成の合奏では大小のものが同時に使われる。

* **グンテル** 構造はサロンに似ているが、槌ではなく、円盤のついた棒で金属の板を叩く。下には共鳴管がついていて、響くので左手で消音する必要がある。ジャワではバルン(低音)、パネルス(高音)がある。

—その他

* **ゴング** 日本でも有名な楽器であるが、東アジア以外にも東南アジアでよく使われる(起源は未詳)。

* **クンプール、クノン** 合奏の拍節法安定を支えるコロトミー楽器として使われる。クンプールとクノン交互に演奏される。

* **クンダン** 合奏全体の主導権を握る太鼓。複雑なリズムで音楽を高揚させ、テンポの変化を先導する機能も果たしている。ジャワには3つのサイズがあり大きいものから、クンダングンディン、クティン、バタンガンがある。バリでは2種類で大きいものから、クンダンラナン、クンダンワドンがある。

*ルバーブ 2本の弦からなる弦楽器。バリやジャワではガムランで使われるが、他にもスマトラやカリマンタン島などでは1本のルバーブ、アチエなどでは3本のルバーブがみられる。もともとはアフガニスタンの楽器と言われている。

***チン**小型のシンバル。リズムを刻み鮮やかさを演出する。

*スリン 竹でできた縦笛。循環呼吸という呼吸法で演奏される。



ボナン(レヨン)



サロン(ガンサ)



ゴング



クンダン



ルバーブ



チェンチェン



スリン

②クロンチョン

クロンチョンの16世紀ごろのポルトガル人来航時まで起源がさかのぼります。16世紀ごろ、ポルトガル船の船員たち(ポルトガル人、アフリカ人、アラビア人)によって音楽が伝えられ(アフリカ、アラブの要素を加味したポルトガル音楽)そこに当時インドネシア固有伝統音楽要素が取り入れられ、混合音楽として生み出されました。

楽器

打楽器は使われず弦楽器のみでリズムを作ります。主に使われる楽器は、フルート、ヴァイオリン、チェロ、ギター、ベース(コントラバス)、バンジョー、クロンチョンギターです

クロンチョンギターは、3本弦でチャッ、チュッなどと呼ばれたりするが正式な名称がないらしいです。

チェロはピッチカートで太鼓のパターンを弾きます。

Bengawan Solo という曲がクロンチョンの代表曲で日本でも人気があったそうで、美空ひばりや小林旭が日本語でカバーしました。

③ダンドゥット

歌手のロマ・イラマ(Rhoma Irama)がスタイルを確立し、1970 年代から今もなお人気の高い音楽です。

マレーシアのムラユ音楽に、インド映画音楽やアラブ音楽、ビートルズをはじめとするロックンロールなどの要素を取り入れた音楽です。

はじめはダンス音楽として流行りましたが、徐々にポップスの代表的なスタイルとなりました。ダンドゥットとハウスミュージックが融合したものはファンコットと呼ばれます。

楽器

ガムランで上記記載の、クンダン、スリンなどのインドネシアの伝統楽器に加え、インドの伝統楽器であるタブラやエレキギターなどを使い強烈なビートを作ります。最近流行りのダンドゥットはクンダンやスリンなどの伝統楽器はあまり使われていない印象を受けました。

4. 現在のインドネシアの音楽の流行

実際にインドネシア人にアンケートを取りました。インドネシア人の友達とその友達にも協力してもらうことができました。

- ☆アンケート内容
- ①インドネシアでいま人気のある音楽はどんなものですか？
 - ②英語とインドネシア語どっちの音楽をよく聞きますか？また、どっちのほうが人気だとおもいますか？
 - ③実際にガムランやクロンチョン、ダンドゥットは有名ですか？またそれをどう思いますか？

★結果

- ①インディーという回答が一番多かったです。次にティックトックで流行った曲という回答も多かったです。他にはコプロ(プロではないダンドゥット歌手)、オルタナという回答もありました。
- ②英語が圧倒的に多く、インドネシア語という回答は一件しかなかったです。両方好きという回答もありました。

③「素晴らしいと思う」「残すべき音楽だと思う」「とても好きな音楽だしかっこいい」という意見がありました。また、「素晴らしいと思うけど古すぎる」「ダサいけどかっこいい」という回答もあった。「特に大都市で有名だと思う」という意見もあつたが、答えてくれた人の中には、知らない人はいなかつたです。

5. 日本でのインドネシアの音楽の普及の現状

一番最初の日本人へのアンケートでガムランなどの伝統的な音楽は有名ではないということが分かりました。では、インドネシア語の音楽や最近インドネシアではやりの音楽はどうでしょうか？これについてもう一つ日本人にアンケートを取ってみました。

☆アンケート内容 日本語、英語以外の言語の音楽を聴きますか？(インストゥルメンタルは含まない)

このアンケートを日本人に取った理由は、今のヒットチャートを見てみるとほとんどの曲がティックトック(問題視されているが….)で流行った曲がチャートインしています。そしてティックトックから、日本以外の国で日本語の曲が有名になったり、そのティックトックで有名になる曲が必ずしも英語の曲ではありません。その中にもインドネシア語の曲がなん曲かあったので、もしかして人気が出つつあるのではないかと思ってアンケートを取りました。

★結果

予想通り韓国語が一番多かったです。理由はティックトックで聴いて好きになったからや、K-pop アイドルが可愛いから、勉強しているからという理由がありました。次に多かったのは聞かないという回答で理由は、歌詞を理解し楽しみたい、出会う機会がないということでした。その他では、中国語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語などがありました。

この結果から、今現在日本では東南アジアの言語の音楽は人気がないということがわかりました。

○考察

今現在日本でも世界的にも有名な K-pop を参考にして自分なりに考えてみました。K-pop は日本では結構前から人気がありましたが、世界的に人気が出できたのは最近だと思います。K-pop では英語と韓国語のミックスの曲が多いです。ダンスがいいから好きなどの意見もあると思いますが、Spotify のグローバルトップチャートを見てみると毎度のように BTS や BLACKPINK などがランクインし

ており、音楽だけでもたくさんきかれていることがわかります。音楽での言語の壁を感じる人は少ないようです。K-pop ではヒップホップっぽい曲調のものが多く、世界でのいまの世界の流行もヒップホップ、レゲトンがダントツです。日本だけで見てみるとヒップホップもレゲトンもそこまで人気はないです。しかしインドネシアでは、インディーが人気ということでしたが、インディーポップやインディーロックは日本では一般的に人気があるわけではないですが、おしゃれな音楽、チル音楽としてじわじわ人気が出つつある印象です。今後世界で、日本での音楽の流行もすぐに変わっていくと思います。

さらに日本人のアンケートの回答でティックトックで韓国語の曲を聴いて好きになったという回答があったように、ティックトックでなどの気軽にほかの言語の曲がきけるアプリなどがあれば人気ができる可能性もあるのではないかと思いました。さらに東南アジアの中でも、インドネシア語やマレー語は、タイ語などとは違いアルファベットが ABC なので検索しやすいと思います。またインドネシア語は日本人の私から聞くととても可愛らしい言語だなと感じます。一度聞いてみたらハマる人が意外と多いのではと思います。

6.感想

インドネシアの人々はいい意味で楽観的で細かいことはあまり気にしないというイメージがあり、私は日本人とは真逆なインドネシア人のゆるい性格がとても好きですが、音楽(特にガムラン)となると細かい決まりや法則などがありびっくりしました。今までのガムランの印象は正直よくわからない音楽だなという印象でしたが、今回研究してみてガムランには何種類もあることがわかり今まで聞いていたものはバリのものだということもわかりました。最近ではジャワのガムランにはまっていて、また新しい音楽に出会えた気がします。それから、タブラの使われた音楽がインドネシアにもあるということを知ることができて、最近はそれにもハマっています。世界の音楽は調べてみないとわからないことや、まだ有名でない素晴らしい音楽が隠れているのだなと改めて感じました。また機会があればインドネシア以外でもたくさん研究したり、調べてみたいと思いました。